



★各自運搬ですが、ご家庭の生ごみも無料で持ち込めます

■持ち込める曜日・時間帯
毎週月曜日から金曜日
8時30分～17時15分
(土・日・祝日は休みです)

※施設内には、生ごみに混入したビニール類などの異物を取り除く「分別機」がありますが、より効率の良い運搬・処理を行うため、できるだけ異物を取り除いて生ごみを持ち込まれるよう、ご協力をお願いします。

★施設を利用できる方

- 学校給食センター、病院、旅館、ホテルなど、市内の事業系の生ごみを排出する事業者
- 市民が排出した生ごみを運搬する、一般廃棄物処理業を営む方
- 自ら生ごみを運搬できる市民の方



▲資源化施設の内部



▲生ごみ受け入れホッパー

★施設を農林課職員が説明します

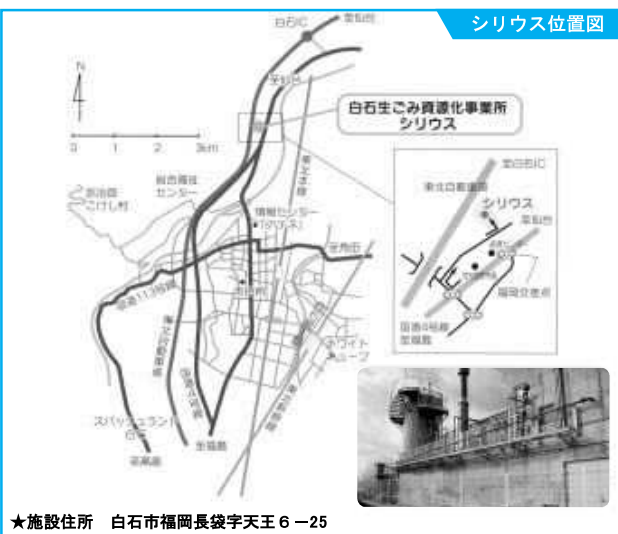
シリウスについて詳しく知りたい市民や団体の皆さんには、次の曜日・時間帯に実際に施設を見学しながら、市農林課の職員が説明します。所要時間は20分から30分程度です。農林課へ事前に電話で申し込みください。

■見学指定曜日・時間帯
毎月第2・第4火曜日
13時～16時

※これ以外の曜日・時間帯は農林課にご相談ください。

☆生ごみ資源化事業所「シリウス」に関するお問い合わせ

農林課
(市農林振興センター内)
☎22-1253



★農産物の生産・流通・消費・再資源化の体験学習★

農業用温室ハウスでは、資源化施設から供給された温水を、室内の周囲に「放熱チューブ」を配置して、室温の維持に使用します。昨年、資源化施設にさががけて完成した、この農業用温室ハウス2棟を「学校農園」「親子ふれあい農園」として使用します。

☆学校農園☆
農業用温室を小・中学校の学級運営の一部に取り入れることで、土に親しみ、農産物の発芽から成長までを実際に体験していただく



食と農の大切さを学べます
「学校農園」「親子ふれあい農園」

▲食と農の大切さを体験した昨年12月の「いちご観察会」
昨年は、小中学校6校の児童生徒や親子が、スイカやメロン、トマト、いちごなどの農産物を栽培しました。今年度も、昨年同様に利用していく予定です。

き、農業・食料の意義・大切さを理解してもらうことをねらいとしています。

★親子ふれあい農園★
農産物の生産・流通・消費・再資源化の体験学習とともに、学校の完全週5日制の実施に伴い、児童と父母との農業生産活動を通じた親子のふれあいを創出します。今年度の親子ふれあい農園での体験活動の募集については、詳細が決まり次第、学校などを通じてお知らせします。

生ごみの再資源化と資源の節約 学校給食センター

学校給食センターでは、給食の残りや調理の際に出た生ごみをシリウスに搬入し、再資源化によってシリウスから供給された温水を利用して、調理や食器洗浄用などの水道水を温め、重油の使用を節約することができます。



▲シリウスからの温水で水道水を温め、調理や食器洗浄などに使用します



▲バッカー車で生ごみを搬入
給食のある日は毎日シリウスに生ごみを搬入します



▲シリウス（右奥）から供給される温水を貯湯する、ストレージタンク